



## 奈良県 香芝市（かしばし）

- 位置：奈良県北西部に位置
- 面積：24.26km<sup>2</sup>
- 割合：山林約25%、田畑約13%
- 人口：79,205人（令和3年2月末時点）

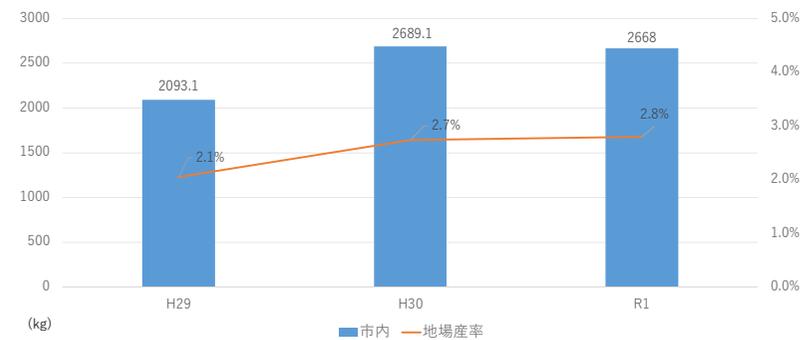


## 香芝市の小学校給食について

- 市内学校数：全10校
- 全校生徒数：約5,000人
- 調理方法：自己調理
- 提供食数：約6,250食/日
- 年間使用量：約92 t
- 地場産率：2.8%



## 年度別地場産物使用率（主要15品目）



## 小学校給食の供給体制



## 香芝市朝市実行委員会

- 所在地 : 奈良県香芝市下田西1-9-31
- 会員数 : 36名
- 事業内容 : 店舗販売  
学校給食への食材提供  
イベント等の出店  
みそ用大豆の栽培  
みその製造  
ふるさと納税等



## 香芝市朝市実行委員会の課題

- ① 給食に関するデータ不足
- ② 野菜の栽培方法
- ③ 供給量の不足
- ④ 会員間の協力



## コーディネーターによる指導内容

- ◆ 派遣専門家（地産地消コーディネーター）  
農産物直売所コンサルティング事務所  
株式会社シンセニアン 代表取締役 勝本 吉伸氏
- ◆ 指導内容
  - ① 地場産物利用拡大の方法
  - ② 野菜の栽培方法

## 派遣事業を通しての目標

- ① 地場産物利用率の拡大
- ② 新規品目の導入
- ③ 朝市実行委員会内の連携強化



## 第1回目派遣内容（11月5日）

◆出席者数：10名

◆指導内容

- ▶全国の学校給食における地場産物の利用状況
- ▶地場産品の利用状況グラフを基に、今後の栽培拡大方法
- ▶香芝市の小学校給食の地場産率、朝市全体で向上対策に取り組む必要性

## 第2回目派遣内容（2月4日）

◆出席者数：18名

◆指導内容

- ▶学校給食での地場産食材の利用率を高める必要性及びその背景
- ▶香芝市の小学校給食における本年度の地場産率を分析
- ▶月別の使用量と地場産使用量をグラフ化し、栽培を拡大させる余地のある品目と栽培時期を提案

## 会議の様子

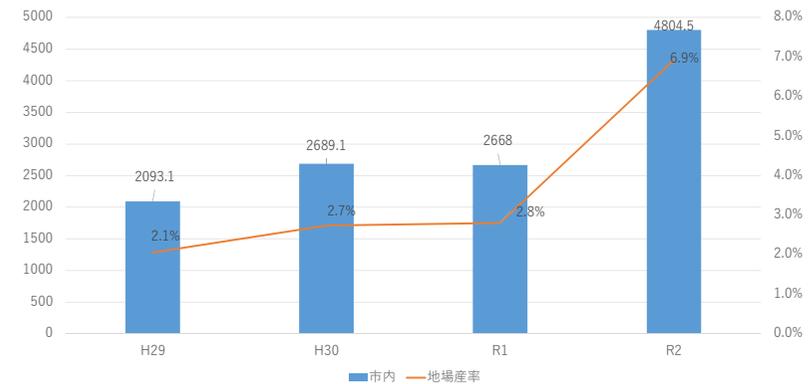


## 派遣事業による成果

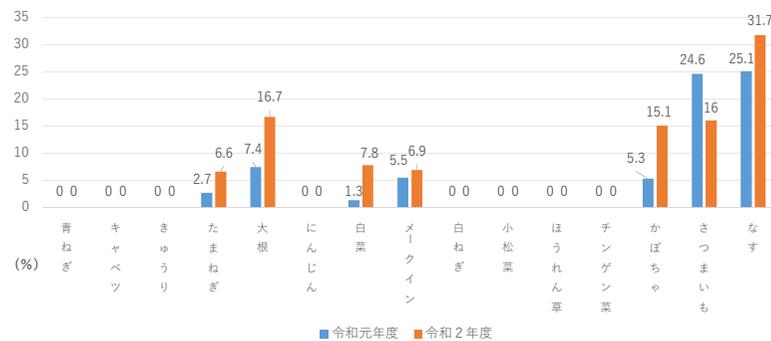
- ① 朝市実行委員会の連携強化
- ② 生産者側の意欲の向上
- ③ 学校給食についてのデータを把握
- ④ 地場産物利用率に貢献
- ⑤ 今後の栽培指針を策定



## 成果のグラフ



## 品目別地場産率



## 今後の取組

- ① 栽培コストの低減
- ② 会員間での出荷時期調整
- ③ 新規品目の取組
- ④ 栽培等に関する講習会を実施

